

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	経営戦略研究科後期課程
大項目	4 教育研究組織 (研究科)
中項目	
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。
要素	教育研究組織の編制原理 理念・目的との適合性 学術の進展や社会の要請との適合性 (KGI) 研究活動の状況
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 博士学位を有する研究者教員と経験豊富な実務家教員の融合による研究指導体制の確立	→研究指導教員の博士学位取得率と研究指導補助教員の実務活動における実績	B	B	A		
2. 教育研究組織の適切性に関して、研究科教員による、意見交換会(内部評価委員会)を開催する	→意見交換会(内部評価)の開催回数	B	B	B		
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	平成24年4月1日をもって研究科指導教員の大幅増員が行われたが、増員に係る審査の要件として、博士学位取得が明記されているため、研究科指導教員は全員が博士学位取得者である。また、研究指導補助教員の増員の際も、審査において、学術上の業績と実務上の業績ともに対象にしている。いずれの審査も、本課程の人事委員会を設けて審査をした上で研究科委員会および博士課程委員会の場で審議している。
★ 目標2	教育研究組織の適切性について、研究科委員会による自己評価点検の際に意見交換を行った。今後は随時の研究科委員会でも意見交換を行うことが望ましい。
目標3	
備考	